

Rotary



人類に
奉仕する
ロータリー

RI会長 ジョン・ジャーム
第2590地区ガバナー 高良 明
No.2104 SEPTEMBER.20 2016



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】：会員増強とロータリーを学び、我が奉仕

会 長	富岡 昭一
副 会 長	内藤 幸彦
幹 事	渡邊 新治
S A A	長戸 隆彦
会報委員長	叶野 聡

2016~2017

第2124回例会

平成28年9月20日

例会日 毎週火曜日 12時30分点鐘
 例会場 川崎市中原区小杉町3-10
 ホテル精養軒
 TEL(044)711-8855
 事務所 川崎市中原区小杉町3-428
 山協ビル402号
 TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
 E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
 URL: http://www.kawanaka-rc.com

例 会 報 告

開会点鐘	富岡 昭一 会長
司 会	長戸 隆彦 S A A
合 唱	「それでこそロータリー」
お客様紹介	金子 利昭親睦活動委員

ゲストスピーカー	公益財団法人 川崎市国際交流協会
中村 高明 様	交流事業課 課長

今後のプログラム予定

9・10月	プログラム名
第4例会 9月27日	合同例会 (川崎とどろき RC) 尺八演奏 田辺恵山様と 琴演奏 伊藤江里菜様
第1例会 10月4日	会員お祝い 米山奨学金授与式 米山月間に因んで 李香福さんの卓話
第2例会 10月11日	経済と地域社会の発展月間 卓話 川崎市民放送株式会社 統括本部長 林敏夫様

出 席 報 告

伊藤 文治 出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
43名	34名	9名 対象外 (7)	94.44%	欠9名 対象外 (7)	MU0名	94.44%

【本日の欠席者】

三木 治一 会員 市川 宏 会員 小林 敏伸 会員
 堀一 慶明 会員 貝田 充 会員 内藤 幸彦 会員
 島 利夫 会員 田邊 進 会員 朝山 秀男 会員

ニコニココーナー

松田 敏治親睦活動委員

富岡 昭一 会長：①川崎国際交流会 中村課長様、本日は卓話よろしくお願ひします。②大雨警報が出ました。崖崩れや山崩れが発生しやすくなっています。外出時には気をつけてください。午後8時以降がピークになりそうです。早めの帰宅が望ましいです。

渡邊 新治 幹事：中村様、卓話楽しみにしています。本日もよろしくお願ひいたします。

川口 禮敬 会員：中村高明様、卓話ありがとうございます。楽しみに拝聴させていただきます。

井上 裕司 会員：宇田さん、昨夜は遅くまでお世話になりました。

金子 利昭会員：体調を崩し、休ませていただきました。

健康には注意してください。

池田 亨 会員：本日はお世話になります。

松田 敏治会員：国際交流協会 中村様、卓話楽しみにしています。

会長報告 富岡 昭一会長

1.地区より地区大会の青少年交換プログラム（米山奨学生参加依頼）のお知らせが届いております。

日時：11月12日（土） 登録 11：15～

会場：パシフィコ横浜会議センター 3F 301・302

<青少年関連プログラム>

○青少年交換会 12：00～14：00

○本会議 青少年紹介 15：30～16：15

○記念講演 16：30～17：30

「2020年東京オリンピックのレガシーとロータリーの多様性」*希望者のみ

講師：国際ロータリー第2580地区パストガバナー
ミズノ株式会社社長 水野 正人氏（東京RC）

2.地区よりクラブ国際奉仕委員長会議開催のご案内が届いております。

日時：10月13日（木） 15：00～17：00

場所：メモワールプラザ ソシア21

3.過日の卓話者、嶋村カナ様（文筆家）よりお礼状が届いております。回覧いたします。

4.ハイライトよねやま198が届いております。回覧いたします。

幹事報告 渡邊 新治幹事

1.例会変更

横浜本牧 10月20日（木）～21日（金）

移動例会（箱根湯本 ホテルおかだ）

川崎麻生 9月30日（金） 休会

10月28日（金） 休会

11月11日（金） 地区大会へ振替

2.次週9/27（火）は、川崎とどろきRCと合同例会です。

（精養軒：2F）

～本日の卓話～

公益財団法人 川崎市国際交流協会

交流事業課 課長 中村 高明様

「川崎市内外国籍居住者の日本語教育」

卓話



<公益財団法人川崎市国際交流協会 交流事業課長

中村 高明様>

初めに宇田章二会員よりご紹介がなされた。

略歴

1978年に川崎市役所入所、多摩区役所柿生出張所、総務局管財課を経て、教育委員会に出向し、川崎市体育館、青少年の家、市民館、生涯学習推進課など社会教育分野で27年の経験を重ね、2015年3月幸市民館長で定年退職。

2015年4月より現職。

卓話内容

「川崎市の外国人市民施策の流れについて」

平成28年9月20日

公益財団法人川崎市国際交流協会交流事業課長

中村 高明

1. 川崎市における外国人市民の現況について

川崎市内の外国人住民登録者は、34,472人（男16,204人、女18,268人）〔平成28（2016）年6月末現在〕となっており、20年前（平成8（1996）年3月の20,156人）と比べると、1.7倍になっています。また、国別にみると、第1位は、中国の11,965人、第2位が、韓国又は朝鮮の7,914人、第3位は、フィリピンの3,941人、第

4位は、ベトナムの1,977人、第5位は、台湾の906人となっています。これは、20年前と比べると、①韓国又は朝鮮8,933人、②中国3,539人、③ブラジル1,843人、④フィリピン1,665人、⑤米国631人でしたので、著しい変化があります。韓国又は朝鮮が、かつては、1位でしたが、平成21(2009)年3月の統計から、中国が取って変わりました。ベトナムは、急速に増大しており、ブラジルは、急減しています。外国人市民が増大した理由は、80年代からの多様なニューカマーの増加が大きな原因です。90年の入管法の改正や、リーマンショック後の日系人帰国支援事業など、国の政策によっても大きく左右されます。

2. 外国人受け入れの歴史的推移と川崎市の外国人市民施策の流れ

明治大学の山脇啓造教授(多文化共生論)は、10年代ごとに自治体の取組を整理しており、1970年代は、「在日コリアンの定住化と社会運動」の時代と規定しています。1970～74年の就職差別裁判(在日韓国人2世の原告が就職差別を訴えた裁判)は、国籍を理由に採用を取り消した企業に全面勝訴し、在日コリアンの権利への自覚化を促した闘争となりました。川崎では、外国人市民の権利保障をめざして、社会福祉法人「青丘社」が設立されます。国際的にも、人権尊重を趣旨とする条約等が整備される時代と重なりあいます。(1979 国際人権規約の批准、1982 難民条約批准)

1980年代は、『『地域の国際化』とニューカマーの増加』の時代とされ、1980年頃から外国人登録指紋押捺拒否運動が全国に拡大する中、川崎市では85年に「押捺拒否者を告発せず」という伊藤市長の方針が発表されます。86年には、「川崎市外国人教育基本方針～主として在日韓国・朝鮮人教育」が制定されますし、88年には、川崎市ふれあい館が設置され、翌89年には、川崎市国際交流協会が設立、両施設では、識字学級(日本語講座)が開設されています。外国人市民が、急増する中で「地域の国際化」が社会的な課題となります。

1990年代は、「ニューカマーの定住化」の時代です。1990年には、改定入管法が施行され、在留資格の拡大によって、日系ブラジル人が急増します。90年には、中原市民館で、識字学級が開設されます。93年には、外国人

技能実習制度の開始、96年には、外国人市民代表者会議の設置、98年には「川崎市外国人教育基本方針～多文化共生の社会をめざして」が制定されます。

2000年代は、「外国人市民施策の体系化→多文化共生」の時代で、2000年には、川崎市住宅基本条例制定、03年は、川崎市識字・日本語学習活動の指針策定、05年は、川崎市多文化共生社会推進指針策定、08年には、同指針を改定します。14年には、川崎市外国人市民意識実態調査が実施され、15年には、川崎市多文化共生社会推進指針の第二次改定がなされます。